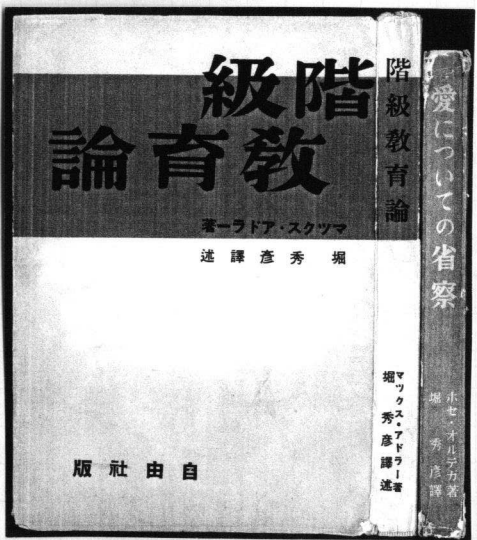
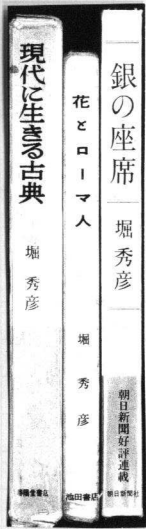


堀秀彦 ほりひこ 評論家。明治二十五年二月十日石川縣金澤生れ。昭和  
 六年二月八月二十七日歿（一九三一年八七）。昭和二年東京帝國大學文學院  
 哲學科卒。東洋大學教授、のち學長。傍ら人生論、戀愛論等の著作多  
 數執筆。

譯著書、マックス・アドラー著『階級教育論』（譯、昭和六年二月二  
 十日自由社）、W・シユテーケル著『近代の結婚』（譯、昭和十四年  
 十一月十七日實業之日本社）、『結婚の眞實』（昭和十五年二月二十  
 九日教材社）、ホセ・オルテガ著『愛のつひつひの考察』（譯、昭和十  
 五年十一月十七日實業之日本社）、『戀愛の道德』（昭和十六年五月  
 一日教材社。再刊、二十二年七月十五日乾元社）、『子供と嘘』（合  
 著・教材社編輯局編、昭和十六年十一月二十五日教材社）『両親教養書  
 選』（、格言集『智慧の言葉』（譯、昭和十七年四月二十日教材社）、  
 『現代人生論』（合著・高山菊次編、昭和十七年十一月十五日教材  
 社）、『東洋的思索（論語を中心とし）』人生觀』（昭和十八年十一  
 月二十日明光堂書店。再刊、十九年四月十五日大阪・明光堂書店）、  
 『子供の指導讀本』（昭和二十二年九月一日眞光社）、『子供の愛育  
 讀本』（昭和二十二年十一月二十日  
 眞光社）、『女を知る法』（昭和二十  
 三年十一月十五日池田書店）、『戀  
 愛の本質』（昭和二十四年十一月二  
 十日樋口書店）、『女性の世界―戀  
 愛・結婚・家庭』（昭和二十七年九  
 月二十日要書房）、ホセ・オルテガ



ガ・イ・ガセツト著『戀愛論』(譯、昭和二十八年二月)二十五日みす  
 ず書房)、『戀愛のついで』(合著・古谷綱武編著、昭和二十八年四  
 月十五日河出書房「河出新書」)、『未亡人ー生理・心理・實態・社  
 會問題』(合著、昭和二十八年十月二十日要書房)、パール・バツク  
 著『男と女』(譯、昭和二十九年二月二十一日文芸出版株式會社)、  
 『人生読本・3』(合著・日本放送協會編、昭和二十九年六月二十五  
 日春陽堂書店)、『のぞめたる純潔』(合著・村岡花子編、昭和二十  
 九年十一月二十日ニ堂書房「ニ堂新書」)、『人間の心づいて』(昭  
 和二十年二月十日池田書店)、『生活の智慧』(昭和二十年十月二十  
 一日河出書房「河出新書」)、『私の恋愛論』(昭和二十一年一月十  
 十日ニ堂書房「ニ堂新書」)、『人間の愛づいて』(昭和二十一年  
 四月二十日池田書店「教養新書」)、『愛情と幸福』(合著・佐多裕  
 子編、昭和二十一年五月二十日池田書店「教養新書」)、『恋愛と友  
 情』(合著・坂西志保編、昭和二十一年六月十五日池田書店「教養新  
 書」)、『論語の言葉』(昭和二十一年七月二十五日実業之日本社  
 「現代の生きる言葉」)、『女性づいての103章』(昭和二十一年九  
 月一日春陽堂書店)、『恋愛づいての123章』(合著・伊藤慈彦編  
 昭和二十一年十一月十四日知性社「知性選書」)、『ここへの手帖』  
 (昭和二十一年十一月二十五日春陽堂書店)、『本のなかの生きる女  
 たち』(昭和二十二年二月二十五日  
 春陽堂書店)、『私達はどう生きる  
 か』(十代からの道徳)、『勝部貞長  
 共著、昭和二十二年三月大阪・専門圖書株式會社)、『現代の生きる



『古典』(昭和二十二年四月二十日春陽堂書店)、『女』(合著・奥野  
信太郎編、昭和二十二年七月一日春陽堂書店)、『花とローマ人』二  
つの人生論』(昭和二十四年一月一日池田書店)、『男と女』この異  
なるもの(男と女のもの)、『全二冊(渋沢多歌子合著、昭和二十四年  
二月十五日東都書房)、『性の倫理』(昭和二十四年十一月五日青春  
出版社「青春教養大系」)、『思考と信仰―日本人の生き方』(昭和  
二十七年二月二十一日新潮社)、『夫婦・親子―家庭とは何か』(昭  
和二十八年九月二十日大和書房「銀河選書」)、『わが家の教育基本  
法』(合著・日本経済新聞婦人家庭部編、昭和二十八年九月二十一日  
日本経済新聞社)、『古典への招待』(昭和二十八年十一月十五日新  
潮社)、『ごんね文化論―パンから声への思想』(合著・南北社編、  
昭和四十一年十月五日南北社)、『愛のミイラ―バスデイブック』(編、  
昭和四十一年十一月十五日新潮社)、『男と女はどう違うか(おたが  
いの理解を深めるための)』(渋沢多歌子共著、昭和四十一年十一月  
二十一日日本文芸社「アポロン・ブックス」)、『銀の座席』(昭和  
五十六年六月二十日朝日新聞社)、『石の座席』(昭和五十九年九月  
二十日朝日新聞社)、『セックスとキャンブル』(昭和六十一年五月  
二十日人間と歴史社)等。